

# 決算公表

平成  
18  
年度

## まちの財政状況と 私たちの税金の使い道

平成 18 年度一般会計決算と 16 の特別会計の決算が大山町議会 9 月定例会で、4 つの財産区特別会計が大山町財産区議会で認定されました。

一般会計決算は、歳入総額 128 億 8,021 万 8,813 円に対し、歳出 125 億 6,043 万 9,591 円、翌年度への繰越額 3 億 1,977 万 9,222 円。予算総額に対する執行率は 93.6%でした。

平成 18 年度には、情報通信基盤整備事業、名和小学校建設事業等の大型事業を行い、平成 17 年度と比較して、26 億 6,095 万円、26.9%の増となりました。

また、20 の特別会計の総計では、歳入総額 90 億 986 万 6,694 円に対し、歳出総額 86 億 713 万 5,678 円で、予算総額に対する平均執行率は 95.2%でした。

### 主な投資的事業

情報通信基盤整備事業	15 億 8,225 万円
名和小学校校舎新築事業	17 億 6,764 万円
臨時交付金事業（末長押平線、赤坂東線ほか）	1 億 2,096 万円
中山隣保館新築事業	1 億 19 万円
大山スポーツ公園整備事業	7,344 万円
公共土木施設災害復旧事業	5,806 万円
農地農業用施設災害復旧事業	5,239 万円
御崎漁港整備事業	4,100 万円
新農業水利システム保全対策事業	3,674 万円
町道高橋樋谷線道路改良工事	3,569 万円

### 昨年の大山町子さんの家計簿

大山町の平成 18 年度一般会計決算を 2000 分の 1 にして  
大山町子さんの家計簿にたとえると・・・

町子さんちの昨年の年間収入は 644 万円。本業での収入（町税収入）は、たったの 72 万円しかありませんでした。前の年（平成 17 年度）も 75 万円しかありませんでしたが、収入がさらに減ってしまいました。アルバイト収入（負担金や使用料などの自主財源）も 24 万円しかなく、合わせて昨年、夫婦で稼いだお金は 96 万円でした。足りない部分は、都会に住んでいる親（国）からの仕送り（地方交付税）や借金（町債）でやりくりしました。

しかし、親の家計も苦しくて、仕送り（地方交付税）も減っていく傾向にあり、昨年は 236 万円しかもらえませんでした。結局、車庫の新築（普通建設事業）と生活費（物件費や人件費など）にあてるため 167 万円を借金しました。この車庫の新築では、兄と姉から祝い金（国庫補助金）の 48 万円をもらうことができ、なんとか完成することができました。

これまで、住宅の新築や自動車の購入にはほとんど借金で購入してきたため、現在 1 年分の生活費以上の借金 722 万円が残っています。この借金の返済に昨年は、生活費より 85 万円を使っています。貯金は、こどもの学費（特別会計への繰出金など）のために 24 万円をおろし、こどもの将来のため 12 万円を貯金して、現在 144 万円になりました。電気や紙類の節約など生活費を切りつめてきたものの、町子さんの収入は、今後も減っていくことが予想されるため、借金を増やさず、食費などをさらに節約し、貯金を取り崩さないことが必要となっています。